

京都中央信用金庫は、基幹システムのオープン化等により、業務の効率化およびデータ利活用の高度化を実現し、事業先への提案力を強化するとともに、データドリブンの営業推進態勢を整備していきます。

また、事業先に対してWEB上で多様なサービスを提供し、顧客の利便性向上を図るとともに、地域企業のDX・デジタル化に貢献してまいります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2022年1月～2026年3月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

事業性融資における売上高の伸び率が、業種売上高伸び率を25.00%ポイント向上させることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

基幹システムの刷新および情報系システムの更改等により、商品等1単位当たりの販売費等を8.84%削減することを目指す。

4. 支援措置

税制措置（DX投資促進税制）

<事業適応計画のイメージ>

事業適応事業の全体像

勘定系システムのオープン化、情報系およびC-NETパソコンの更改により、①対面営業の強化、②データ利活用、③UI/UXの高度化を実現し、事業性融資に係る売上高を向上させる

